



人に学び・物に学び・自然に学ぶ

三室中だより

《学校教育目標》 令和7年度第8号 令和7年12月1日(月)発行
自ら学ぶ生徒の育成 心豊かな生徒の育成 健康でたくましい生徒の育成

さいたま市立三室中学校

〒336-0912

ばんば

さいたま市緑区馬場1-38-2

学 校 048-874-2331

FAX 048-810-1125

相談室 048-876-1731

<http://mimuro-j.saitama-city.ed.jp>

心に響く言葉とともに

校 長 中村 篤

11月1日(土)、体育祭を実施いたしました。前日からの雨により校庭には水たまりができ、開催が危ぶまれましたが、早朝より多くの生徒・教職員がスポンジを使って水抜き作業や用具の準備に尽力してくれました。そのおかげで、午後からの開催という形にはなりましたが、予定されていたほとんどの競技を行うことができました。

練習期間中は、体育の授業や放課後の学年練習で、元気な声が学校中に響き渡っていました。学年種目や大縄跳びでは、繰り返し練習を重ねることでクラスの結束が深まり、当日はその成果を存分に発揮してくれました。どの生徒も真剣そのもので、迫力ある競技を見せてくれたことを誇りに思います。また、自分のクラスだけでなく、勝敗にかかわらず他学年や他クラスを応援する姿に、心から感動しました。

当日は多くの保護者・ご来賓の皆様にご来校いただき、誠にありがとうございました。急な日程変更によりご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げますとともに、ご理解とご協力に深く感謝申し上げます。さて、3年生はいよいよ進路を決定する時期となりました。12月に入ると、受験に向けて管理職による面接練習が始まります。数年前の面接練習で、ある生徒に「あなたの座右の銘は何ですか」と尋ねたところ、「因果応報です」と答えたことがあります。私は一瞬驚きました。「因果応報」という言葉は、悪いことをすれば悪い結果が返ってくるという意味で使われることが多いからです。しかし調べてみると、本来は良いことをすれば良い結果が返ってくるという前向きな意味もあるのです。その生徒は続けて「人に親切にしていれば、いつか自分も助けてもらえる。だからこの言葉が好きです」と話しました。私はその考え方に深く感心しました。

教育者の中には座右の銘として「率先垂範」を掲げる人が多くいます。私自身もそれを心掛けていますが、ふと我が家の様子を振り返ると、子どもたちは宿題や課題を期限ぎりぎりまで始めず、夜遅くまで起きています。注意すると「お父さんに似たんだね」と言われ、何も言い返せませんでした。確かにそのとおりで、私の姿を見て知らず知らずのうちに同じ行動をしてしまっているのだと反省しました。

面接練習では必ず座右の銘を聞こうと考えています。難しく考える必要はありません。「継続は力なり」「笑顔は人を幸せにする」など、身近な言葉で構いません。ご家庭でも、お子様と互いの座右の銘について話し合ってみるのも面白いかもしれません。言葉には力があります。自分を支える言葉を見つけることは、これからの人生において大きな意味を持つでしょう。

寒さが厳しくなる季節です。どうぞご自愛いただき、よい年の瀬をお過ごしください。来年は、体育祭で見せてくれた生徒たちの「挑戦する姿勢」を大切に、学びや行事で一步前へ進む年にしたいと考えています。私自身も率先垂範を心掛け、皆さんとともに成長し、前進できる一年にしていきたいと思います。